

JR東海労なごや

2012年10月23日 No. 926
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：堀部肇

加入から1年、組織拡大の成果を確認！！

2012年10月20日、名古屋地本は名鉄会館において「松山文成さん加入1年！さらに組織拡大を目指す集会」を開催しました。

この集会は、昨年10月5日に「期待と希望」をもってJR東海労に加入した勇気を全体で学びあい、加入後の会社とJR東海ユニオンに対する闘いと成果を明らかにしてきました。



DVD上映とパネルディスカッションで明らかに



会社からは「復職するか退職するか決めろ」と言われ、JR東海ユニオンからは「自分の身は自分で守れ」と突き放された彼が東海労を選び、その相談に答える役目を果たすことができたこと。彼がなぜ組合を変わろうと思ったか、なぜ東海労を選んだか。加入後に執拗に付きまとうJR東海ユニオン役員に対し「JR東海ユニオンは何もしてくれなかった。この不信感は拭えない」と抗議と対決を行ってきたことなどがDVDやパネルディスカッションで明らかになりました。

悩みを相談されそれに答えることができる組合へ

この間、多くの職場で親や周りに祝福されて希望を持って就職した多数のJR東海ユニオン組合員が相談もできないまま、自ら退職の道を選んでいきました。昨年、彼が加入してすぐに会社は各職場で面談と称して「悩みはないか。相談することはないか」と探りを入れたようです。ある職場の管理者は「彼は一生を棒に振った」と言ったそうです。そうでしょうか。断じて否です。彼は希望を持って明るく金山駅で仕事をしています。しかし、多くの職場では今なお多くの若者が悩み苦しんでいます。私たちは悩みを相談されそれに答えることのできる労働組合としてさらに職場から拡大に向け進んでいくことを確認し合いました。